

学校関係者評価報告書

愛媛県立東温高等学校

学校番号 27

評価実施日		平成30年2月19日(月)	
委員	氏名	所属等	備考
	菅野邦彦	学校評議員	委員会には、野本氏は欠席した。
	高須賀広一	学校評議員	
	渡部園子	学校評議員	
	野本勝	学校評議員	
	吉田典夫	学校評議員	
	八木良	東温市立重信中学校長	
	渡部浩美	東温市立川内中学校長	
酒井輝久	東温高等学校PTA会長		
評価・提言など		提言等に対する改善方策等	
1	<p>学校全般について</p> <p>学校評価の27項目中4項目を除いて、評価ポイントが70以上であるのは素晴らしい。日頃からの指導が着実に成果として現れてきている証左である。これからも、担任をはじめとして、各先生方がそれぞれの立場から生徒に接して行ってほしい。そのことで、学校生活が更に充実したものになり、生徒の評価もさらに上がっていくように思われる。</p> <p>新校舎も完成し落ち着いた環境の中で、生徒が授業をはじめとする学校生活に一生懸命に取り組んでいる姿が印象的であった。</p>	<p>マニフェストには「明確な目標がある高校生活」をサポートすることを掲げている。今後も明確な目標を持って何事にも取り組んでいける生徒の育成に、全教職員が一丸となって継続して取り組んでいく。</p> <p>すべての生徒が楽しく有意義な学校生活を送っていると感じられるよう、一層の支援に努めていく。</p>	
2	<p>学習指導について</p> <p>主体的・対話的な学びということが言われているが、英語の授業で単語の意味をペアで言い合っているのを見て、授業のやり方も変わってきていることを感じた。</p> <p>授業評価アンケートで、「積極的に質問するなど授業に意欲的に参加しているか。」「授業内容がよく理解</p>	<p>アクティブ・ラーニングの導入など、生徒が自発的に参加できる授業改善への取組を推進していく。</p> <p>全体的に分からないことを聞きに来る生徒は少なく、そのままにして</p>	

できているか。」について、教員評価と生徒の自己評価の差が大きいように思われる。

いる生徒が多いように思われる。家庭学習時間がまだまだの生徒もあり、継続して生徒の意識向上を図っていく。また、生徒が主体的に授業に取り組めるよう習熟度講座編成等効果的な授業形態の実践・検証を行っていく。

3 進路指導について

センター試験を受験する生徒が増えてきていると聞いている。高い目標を持って努力してほしい。生徒の進路希望が達成できるよう、これからも進路指導に力を入れて取り組んでほしい。

迅速な進路情報の提供に努め、家庭・学校との一体感を持って指導することにより、高い目標を持たせ、努力する姿勢を養っていく。

4 生徒指導について

夜に商業施設で東温高校生を見かけることがある。声をかけると「部活動の帰りです。もうすぐ帰ります。」との返事がある。態度等に問題はないのだが、できるだけ早く帰宅させるようにしてほしい。また、夜一人で自転車で下校する女子生徒を見かけるので心配することがある。

早めの帰宅、複数での下校、不必要な寄り道をしないなど、下校時における安全指導の充実と徹底を一層図っていく。

保護者の車での送迎をよく見かけるが、我々の時代では特別な事情以外では送迎してもらうことはなかった。安易な送迎には疑問を感じる。

自分で登校するように促しているが、家庭の事情等で思うようになっていないのが現状である。保護者の送迎を見かけたときには声掛けをして理解を得るように努めているが、今後も粘り強く取り組んでいく。

5 特別活動について

学校行事では、生徒が作り上げる迫力ある体育祭に感動した。また、東温フェスティバルでは、充実した文化部の活動を見ることができた。生徒たちが生き生きと自分を表現している姿に感銘した。中学生もあこがれを持って見ているので今後も継続してほしい。

今後も継続して学校行事に生徒自ら意欲的に取り組む態度を育成していくとともに、生徒が安心して活動できるよう、安全には細心の注意を払って計画・実施していく。

部活動では、どの部も熱心に活動しており、全国レベルの活躍をしている部もある。中学校と部活動での交流が行われているが、中学生にとってメリットが多く、可能な範囲で今後も交流をしていただけるとありがたい。

愛媛国体では、東温市の会場でソフトボールの決勝が行われたが、東温高校に全校応援で盛り上げていただき、その姿に感動した。

6 人権教育について

ささいなことが陰湿ないじめにつながり、長く苦しむ子供がいる。SOSに早く気づき、対応していかなければならない。全体的に東温高校生のマナーは非常に良く、だからこそ一部のそういう良い波に乗りきれない生徒がいれば、その声に早く気づき耳を傾けてほしい。

7 安全教育について

毎朝、交通指導をしているが、よく挨拶をしてくれる。まれに、ヘルメットをかぶってなかったり、あごひもが止められていなかったりする生徒がいるが、声を掛けるとすぐに直してくれる。指導に対して素直である。

地域に根ざした学校を目指し、今後もできるだけ地域や地域の方々と多く関われる機会を増やし、生徒が充実感や達成感を感じ取り、励みとなるようにしていく。

生徒の訴えには真摯に耳を傾け、即座に組織で対応することで問題の早期解決を図り、関係生徒に対してしっかりとフォローできるよう一層努めていく。

自分の命は自分で守る意識をしっかり持たせ、登下校以外での自転車乗車時も含めたヘルメット着用の更なる徹底について、家庭や地域の協力を得ながら指導していく。